

# 図書館だより

Bulletin of the Hokkai Gakuen University Library

## 図書館と私

### 北京図書館

経済学部教授 西川博史

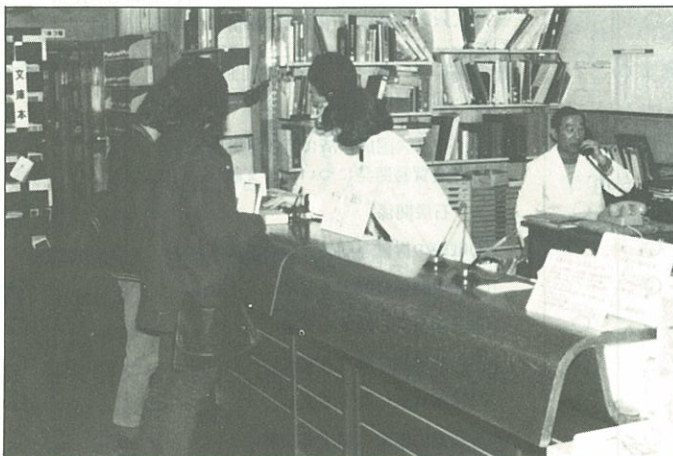
一九七九年夏、一般的には外国人に開放されていなかった北京図書館に入館が許可された。それまでは時たまバスの窓から緑の琉璃瓦に丹塗りの大門を眺めるだけだったので、世界に冠たる図書館でカードを引いて借出請求ができるということ胸が高なった。

北京図書館は故宮の裏手にある北海公園の隣りにある。北海公園の入口の少し西側に北海と中南海を区切る北海大橋があり、これを渡るとすぐ目の前に北海の白塔と水を隔てて北京図書館がみえる。北京図書館の前身は京師図書館で、現在の建物は一九三一年に建てられた北平図書館のものである。大門の前には円明園から運ばれてきたという一對の石獅子が控え、大門をくぐると右手に国立北京図書館紀の碑があり、顔を上げると正面に緑瓦の二重になった大屋根の本館が左右に翼を広げるように建っている。

入口左手で荷物等を頂け、ホール入口で入館証明書を受取つて中に入る。北京図書館の蔵書は一千万冊といわれている。このうち一般書籍は五百万冊、外国書が二百万冊といわれているから専門書は三百万冊、そのうち自然科学書が半分とすると社会科学書は百五十万冊あることになる。しかし実際のカードボックスで引ける図書は目算して三十万冊程度しかない。確かに北京図書館にあるとされる友人から依頼された書籍もカードには見当らなかつた。未整理とはいえとても残念である。

こうした事態解消のため、現在、北京西郊外に北京図書館の新築工事が始まっている。

(にしかわ ひろし 日本経済論)



- 図書館と私  
北京図書館  
.....西川博史
- 文献検索法  
V 資源・エネルギー編①
- 古典の窓  
デイドロ没後200年  
百科全書一  
近代をひらいた魂の光  
.....橋本 剛

開館時間 本館 月～金曜日 9:30～20:00 土曜日 9:30～18:00  
 工學部分室 月～金曜日 9:30～17:00 土曜日 9:30～13:00

# 図書館利用あんない

## 本学図書館のレファレンス・サービス

—その事例と今後の課題—

はじめに

レファレンス・サービスの必要性

各学問分野の研究者による学術研究活動は近年急激に増え、その成果として公にされる学術情報量は増加の一途を辿っている。

このような学術研究活動の多様化、多量化の波の中から必要な情報を常に迅速かつ的確に入手することはもはや個人的努力では限界がある。

これら社会情勢の変化にともない利用者は大規模で組織的な情報を提供することを目的としている図書館に依存せざるをいなくなってきた。

そして今日的な考え方としての図書館自体の性格は学内の諸研究活動の情報センターとしてその役目を強くしているように思われる。

### 1 具体的な内容例

特定分野に関する参考質問	入手先	
	自館	他館 (外国を含む)
<b>1. 経済関係</b>		
①アメリカの Mellon 財団に関する文献		○
②過去10年間の家計調査に関する文献	○	○
③過去10年間の個人貯蓄に関する文献	○	
④満州の羊毛に関する文献		○
⑤ソ連における貸金管理に関する文献		○
⑥エカフェに関する文献	○	
⑦公取委員会の内容について	○	
⑧ドイツ統計学に関する文献	○	○
⑨銀行業務に関する文献	○	
⑩各会社（工場）の株式の構成について	○	
⑪木村会計学の特徴について		○
⑫中世イタリアにおける工業会計について		○
<b>2. 法律関係</b>		
①住民参加に関する文献について	○	
②ブラッセルで署名された船荷の証券に関する規則	○	
③保健法に関する文献	○	
④日本における教育法に関する文献	○	

1 レファレンス・サービス (Reference Service) の事例

今回はスペースの関係上特定分野に関する文献調査に限った。

従って即時調査1件20分程度で回答したものは除いた。

また、文献調査に利用した主要な参考図書 (Reference Book) をあげその利用方法について簡単な説明を加えた。



RANGANTHAN, SHIYALI RAMAMRITA

(近代図書館学の樹立に務めた人)

ALA World Encyclopedia of Library and Information Serviceより撮影。

特定分野に関する参考質問	入手先	
	自館	他館
<b>3. 農業関係</b>		
①ドイツ農業に関する文献	○	○
②農業協同組合についての文献	○	○
③ネパールのカンキツ栽培事情について		○
④アメリカ、メキシコにおけるアボガドの栽培について		○
<b>4. 貿易関係</b>		
①イギリス貿易関係の文献 (イギリス国民経済に及ぼす影きょう)	○	
②国連貿易開発についての文献		
<b>5. 石炭関係</b>		
①戦後の炭鉱運動史についての文献		○
②北炭関係に関する文献		○
③三菱石炭に関する文献		○
④三井炭鉱に関する文献		○
⑤住友炭鉱に関する文献		○
⑥常盤炭田史に関する文献		○
⑦釜石鉱山史についての文献		○
<b>6. 教育関係</b>		
①開拓史が設けた高等教育機関の設立年月日、教科内容	○	

特定分野に関する参考質問	入 手 先	
	自 館	他 館
②ベスタロッテに関する文献		○
7. 交通関係		
①シートベルト着用した場合の安全性について		○
8. 自叙伝		○
①磯村豊太郎に関する文献		○
②三井高逵に関する文献		○
③熊極余韻に関する文献		○
④麻生太吉に関する文献	○	○

2. 文献調査に利用した主要な参考図書

(1) **経済学文献季報**, 経済資料協議会, 1956—  
経済学を中心として, 社会科学分野の和雑誌を  
主として収録している。若干外国の雑誌論文を  
含んでいる。

内容構成は16類なる。巻末には著者名索引が  
ある。

(2) **法政, 経済, 社会論文総覧**, 天野敬太郎刀  
江書院, 1927—28。2冊

社会科学分野の雑誌の創刊号から大正15年6  
月(ただし, 途中で廃刊されたものは, そのと  
き)までの記事と50音順の件名のもとに集め発  
表年月順に配列している。この他記念論文集,  
講座類の内容を収録している。

(3) **雑誌記事索引**, 国立国会図書館, 紀伊国屋  
書店, 1948—

国内で出版された雑誌論文, 記事のみを収録  
している。この索引の利用は雑誌名, 巻号がわ  
からない場合, 求める記事がどこにあるかを調  
べるのにどうすればよいか。そんなとき大変役  
立つ道具です。

内容構成は, 記事名索引, 執筆者索引の50音  
順, (ABC順)に配列している。

この他事項索引もある。

(4) **経済学文献大鑑**, 大阪商科大学経済研究所,  
1934—39, 4冊

図書, 雑誌論文, 論文集などを, 日本と外国  
の部に大別し, さらに主題や地域で細分し, そ  
のもとでは著者名のABC順に配列している。

(5) この他所蔵検索ツール(道具)として,

① **学術雑誌総合目録**, 文部省大学術局, 紀伊  
国屋書店。

国内の大学, 官公庁, 専門機関等で所蔵して  
いる和, 洋の雑誌で日本ではこれ以外の雑誌目  
録はない。人文, 社会と自然科学に分れている。

② **国立国会図書館蔵書目録**, 国立国会図書館  
同館所蔵の和書, 昭和23年以降10年ごとに日本  
十進分類法によって配列した目録。主題索引と  
著者索引がある。

③ **新収洋書目録**, 国立国会図書館, 1954—同  
館所蔵している洋書目録である。

同館が中心となっているが, この他大学15館  
公共図書館2館を加えている。

ABC順の著者目録である。

II 今後の課題

今後ますます情報と資料の氾濫が予想され,  
必要とする資料の入手が困難になると考えられ  
る。従ってこの業務を更に発展させていくため  
には業務組織, 人事, 予算, 図書の選択, 館員の  
研修制度等の基本的な問題の確立をいそがなけ  
ればならない。これらの問題は単に図書館側の  
技術的な問題だけで解決できるものではなく大  
学の管理運営に深く関連する根本的な問題を多  
く含んでいるため今後これらの問題については  
高次元からの見方が必要と思われます。

われわれは現段階で与えられた条件下にいて,  
それへの実績と経験を積み重ねる意味で積極的  
にこの業務を行ない, 利用者に対するレファレ  
ンス・サービスの必要性の認識を高めていくこ  
とが大切であろう。このことが学内からの教員,  
学生そして大学当局から, この業務に対する評  
価が高められていく結果にならうと思う。

(浦上 忍 うらかみ・しのぶ 閲覧係)

貸出停止期間のお知らせ

2月16日から後期の試験が行なわれますので,  
下記の通り貸出停止いたします。

2月6日(月)~2月29日(水)

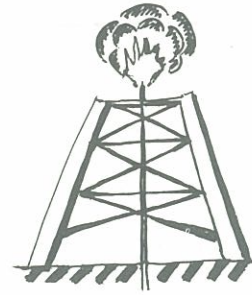
# 図書館をあなたのものに

## 資源・エネルギー情報の

### 調べ方(1) 石油・LPG・天然ガス編

#### シリーズ

#### 文献検索法V 資源・エネルギー編①



#### 石油代替エネルギーの開発

今、日本経済産業にとって、石油代替エネルギーの開発が、もっとも重要な課題となっています。

エネルギーの自給率が9%という海外依存率の圧倒的な高さと、2度の石油ショックで受けた産業の痛手の経験から、現在では、省エネの推進、石炭、地熱、水力、原子力などへの燃料の変更、また、石炭液化、太陽熱利用、水素エネルギー開発など、新しいエネルギー源の研究、新しい利用技術の開発、実施が推進されています。

この稿では、日本の資源・エネルギーの現状を認識する上で、重要と思われる、主に、当図書館、及び、当大学開発研究所に所蔵する資料について御紹介します。

#### 回石油

わたしたち、日本人が使っている石油製品を製造するために使われている石油の消費量について知るには？、「エネルギー生産・需給統計年報」昭和57年度版（通商産業省）〔分類501.6 番号E59〕に所載の統計表、～わが国の石油製品消費量～を御覧ください。この表から、石油を種類別（ガソリン、ナフサ、ジェット燃料、軽油等6種）に、1935年から1981年までの消費量の推移を把握することができます。

○日本は、どの国から、どれだけ原油を輸入しているか知るには？

また、同資料に所載の表、～わが国の原油輸入先～によりますと、中東産油諸国他、日本の石油の輸出先別の輸入量と、その全体に占める比率がわかります。

○日本の原油の年間の消費支出・収支決算を知りたいときには？

また、日本の原油の年間の産出・輸入・輸出・消費量・国民1人当りの消費量・原油の自給率等

についての数値を詳しく知るには、「国際連合エネルギー統計年鑑」1982年版(国際連合)〔分類501.6 番号Ko51 開発研究所所在〕所載の表、～主要国の原油需給～をご覧ください。この資料は、国際連合発行の「Yearbook of World Energy Statistics」の日本語版です。

○世界各国の石油消費量を知るには？

「内外石油資料」昭和58年度版（石油連盟）〔4層寄贈分〕の所載の表～世界の石油消費量～をみてください。また、「国際連合統計年鑑」(国際連合)〔分類350.9 番号Se22〕にも世界の石油消費量に関する統計があります。

○世界の石油産出量と埋蔵量について知るには？

前掲の資料、「内外石油資料」所載の表、～世界の原油産出量と埋蔵量～をみると、過去10年間の世界各国の原油産出量と、確認埋蔵量と、世界の埋蔵量全体に占める割合も示してあります。

○原油価格の過去10年間の推移を知りたいときには？

原油価格の推移について知りたいときには、「石油資料」(通商産業省)〔分類575.5 開発研 番号Se44 所在〕所載の表、～アラビアンライト原油価格の推移～をみると、1973年から過去10年間の、原油価格の変動の差の激しかった分の年月日と、その時点での原油価格が示されていますので、原油価格の推移を理解することができます。

#### 回LPG（液化石油ガス、プロパンガス）

石油精製工場・石油化学工場での石油の精製過程で発生するプロパン等の各種ガスを、ボンベに詰めたものです。都市ガス利用網の届かない地域で、広く家庭用として利用され、タクシー等、運輸業務用としても広く使われています。

LPGの価格も、原油価格と同じく、値上がりが続いています。しかしながら、ガソリン等石油燃

料よりは、多少安価なため、価格の上昇にもかかわらず、需要が増え続けています。しかし、国内の工場からの生産には限度があるため、輸入量が、近年、増加しています。

○LPGの国内生産と輸入の推移を知るには？

前掲の資料、「エネルギー生産・需給統計年報」所載の表、～液化石油ガスの供給～をみると、国内生産量と輸入量が、1976年から1981年まで示してあります。

○LPGは、どのような用途で使われているか？

同資料所載の表、～液化石油ガスの販売高～をみると、用途別（化学原料用、工業燃料用、都市ガス用、自動車用、家庭用等）に、最近のLPGの使われ方がわかります。

○LPGの輸入先は？

また、LPGの輸入先については、同資料所載の表、～液化石油の輸入～をみると、輸入先の国別に、輸入量が示されています。

## 回天然ガス

石油の代替エネルギーとして期待され、世界の確認埋蔵量は約75兆立方メートルであるのに対し、1981年の世界生産が1.6兆立方メートルにすぎず、可採年数は約47年ということから、これから開発されるエネルギーといえます。しかしながら、天然ガスは、石油開発以上に、液化による（液化天然ガス—LNG, liquefied Natural Gas）輸送など、技術的に、利用に至るまでの開発費用がかさむという問題をかかえています。また、石油価格の上昇とともに、その価格も値上がりしてきましたが、将来の石油の供給不足を補う代替エネルギーとして、今後、ますます活用されるでしょう。○液化天然ガスの輸入と天然ガスの使われ方について知るには？

○液化天然ガスの輸入量と天然ガスの国内工場生

産量、そして、産業別の使用量、都市ガス、家庭燃料としてどれだけ使われているか？については、同資料、「エネルギー生産・需給統計年報」所載の表、～わが国の天然ガスの需給～をご覧ください。○世界の天然ガスの生産量について知るには？

前掲の資料、「国連エネルギー統計年鑑」〔分類番号501.6 Ko51 開発研究所所在〕所載の表、～世界の天然ガス生産高～をみると、1970年からの主要各国の生産高、消費量、その他全体に占める比率があります。また、世界の天然ガス埋蔵量についても、同資料をご覧ください。

上記の通り、この稿では、当図書館と開発研究所所蔵の資源・エネルギー関係の資料について紹介してきましたが、さらに、資源エネルギーとしての石炭、原子力、地熱、太陽熱等については、次稿で続筆したいと思います。尚、前掲、ご紹介した資料以外の主要な石油関係の資料を、終りにご紹介します。（当館、開発研究所、工学部図書室所蔵分）

- 「1981年業界の推移」（石油連盟）〔4層寄贈分〕
- 「石油便覧1982年版」（日本石油）〔<sup>575.5</sup>Se44〕
- 「石油統計表」（日本石油）〔<sup>568.05</sup>N77〕
- 「石油化学工業年鑑」（石油化学新聞社）〔<sup>575.5</sup>Se44 工学部所在〕
- 「石油化学エネルギー便覧」（通商産業省）〔<sup>501.6</sup>Sh29 開発研究所所在〕
- 「石油備蓄ハンドブック」（通商産業省）〔<sup>568</sup>Se44〕
- 「新石油事典」（石油学会）〔<sup>568</sup>Sh69 工学部所在〕
- 雑誌
- 「エネルギー経済」日本エネルギー経済研究所
- 「エネルギーレビュー」エネルギーレビューセンター
- 「PETROLEUM ECONOMIST 日本語版」石油評論社

その他、各石油会社調査月報等、所蔵しております。尚、当館に所蔵しない資料で、主要な関係資料も多数ありますので、それらの資料については、利用の相談も含めて、カウンターにて、お尋ねください。

（酒井 哲哉 さかい・てつや 閲覧係）



# 資料案内

(昭和58年10月～12月に受入整理された図書のうち主なものを選択して掲載してあります。)

## ◆教養関係◆

- スターリン主義研究—遺稿— 柳田謙十郎著 日中出版  
1983 312.38 Y53
- 法律を学ぶ人の文章心得12章 井口茂著 法学書院 1982  
320.7 I24
- 法実証主義論争—司法的裁量論批判— 深田三徳著 京都  
法律文化社 1983 321.1 F71
- 社会学の視角—個人と社会— 細谷昂〔等〕著 アカデミア  
出版会 1983 (Academia Lecture Series) 361.01 H95
- 実学のすすめ—失業社会にそなえて— 中山茂〔等〕著 有  
斐閣 1983 (有斐閣選書) 370.4 N45
- これからの教育評価—たしかな学力と発達を保障する—  
中内敏夫 三井大相編 有斐閣 1983 (有斐閣選書) 371.8 N43
- 青少年の健康と体力 文部省体育局編 ぎょうせい 1977  
374.9 Mo31
- 近世数学の歴史—微積分の形成をめぐる— 中村幸四郎  
著 日本評論社 1980 410.2 N37
- 線形代数入門 有馬哲著 東京図書 1974 412.3 A72
- 線形代数ベクトル解析 小西栄一 深見哲造 遠藤静男著  
培風館 1978 (工科の数学—改訂—2) 412.3 Ko75
- 組合せ理論とその応用 高橋鶴郎著 岩波 1979 (岩波全  
書316) 413.9 Ta33
- 計算数学夜話—数値で学ぶ高等数学— 森口繁一著 日本  
評論社 1978 418.1 Mo48
- 確率論 西尾真喜子著 実教出版 1978 418.7 N86
- 確率システム理論3 応用編 砂原善文著 朝倉書店  
1982 418.7 Su73
- セルフ・コントロールの医学 池見西次郎著 日本放送出  
版協会 1978 (NHKブックス321) 493.09 I33
- 新しい健康づくり—現代人のフィットネス理論— 波多野  
義郎著 日本YMC A同盟出版部 1973 498.3 H42
- 健康づくり全書 改訂版 保健同人社 1980  
498.3 Ke45
- 高品質ソフトウェア—ソフトウェア品質管理概論— C-K  
Cho著 後藤公雄〔等〕訳 近代科学社 1982 549.9 C52
- マイコンによるデータ整理—ノートとグラフ用紙のいらな  
い研究室に— 中東美明著 培風館 1982
- 日本思考史叙説 竹内整一 西村道一 窪田高明編 ペリ  
かん社 1982 121.02 Ta67
- 近代思想の展開 谷嶋喬四郎編 勁草書房 1983  
130 Y16
- 大論理学2 G.W.F.ヘーゲル著 寺沢恒信訳 以文社  
1983 134.4 H51
- ヘーゲルの精神現象学 W.マルクス著 上妻精訳 理想社  
1982 134.4 Ma59
- ヘーゲル F.ヴィートマン著 中埜肇 加藤耀子訳 理想  
社 1982 (ロロロ伝記叢書) 134.4 W72
- 人間のこころ—心理学はどう答えるか— 小口忠彦著 有  
斐閣 1983 (有斐閣選書) 140.1 O26
- 環境心理学 望月衛 大山正編 朝倉書店 1979  
141.2 Mo12
- 自由と理性 R.M.ヘア著 山内友三郎 理想社 1982  
151.2 H32
- 親鸞との対話 曾我量深著 彌生書房 1982  
188.7 So25
- 生と死の思想—ヨーロッパ文明の核心— 鯖田豊之著 朝  
日新聞社 1982 (朝日選書210) 230.04 Sa11
- ヨーロッパ文化発展の経済的社会的基礎—カエサルからカ  
ール大帝にいたる時代の— A.ドブシュ著 野崎直治  
石川操 中村宏訳 創文社 1980 (名著翻訳叢書)  
230.1 D86
- 中世の窓から 阿部謹也著 朝日新聞社 1981  
230.4 A12
- 中世の旅：騎士と城 H.プレティヒャ著 平尾浩三訳 白  
水社 1982 230.4 P72
- 中世の旅：都市と庶民 H.プレティヒャ著 関楠生訳 白  
水社 1982 230.4 P72
- イギリスの生活と文化事典 安藤伸介〔等〕編 研究社  
1982 302.33 A47
- ルソーの政治哲学—その体系的解釈— 上 白石正樹著  
早稲田大学出版部 1983 311.1 Sh82
- 日本政治思想史研究 丸山眞男著 東大出版会 1952  
311.21 Ma59

- 549.9 N35  
読むだけでよくわかるベーシック文法入門 小笠原一 柳谷浩三著 山海堂 1982 549.9 O22
- 運動処分—その生理学的基礎— 加賀谷潤彦 加賀谷淳子著 杏林書院 1981 781.9 Ka17
- 手—大脳をきたえる— 小野三嗣著 町田 玉川大学出版部 1982 781.9 O67
- ドイツ民主共和国の陸上競技教程 G.シュモリンスキー編 成田十次郎 関岡康雄訳 ベースボール・マガジン社 1982 782 Sc 5
- こだわり版ほんやくノート—翻訳感覚・言葉の世界— 別宮貞徳著 P H P 研究所 1982 801.7 B32
- 英語学から英文学へ 永野芳郎著 英宝社 1982 830.1 N16
- 日本の学校教育に対するネイティブスピーカーのコメント 集問題集編1 英語教育研究会編 アトランダム社 1982 830.7 E37
- 翻訳英文法—訳し方のルール— 安西徹雄著 日本翻訳家養成センター 1982 (BABEL 双書) 835 A49
- 日本語らしい表現から英語らしい表現へ E.G.サイデンス テッカー 那須聖著 培風館 1962 837.4 Se17
- 批評の解剖 N.フライ著 海老根宏〔等〕訳 法政大学出版局 1980 (叢書ユニベルシタス) 901.4 F49
- 折々のうた 大岡信著 新編 朝日新聞社 1983 911.104 O69
- 戦死ヤアワレー無名兵士の記録— 足立巻一著 新潮社 1982 915.9 A16
- 薔薇と十字架—英文学とキリスト教— 生地竹郎著 篠崎書林 1981 930.1 O31
- ◆ 経 済 関 係 ◆
- カール・マルクス V.I.レーニン著 村田陽一訳 河野公平訳 大月書店 1983 (大月センチュリーズ) 134.64 L54
- 経済原論 日高善著 有斐閣 1983 (有斐閣選書) 331.01 H54
- 経済指標のかんどころ 富山県統計情報課編 増補改訂13版 富山 富山県統計協会 1983 331.19 To79
- 古典経済学と初期社会主義 鎌田武治著 未来社 1968 331.32 Ka31
- 経済学における人間像 岡田純一著 増補 未来社 1967 331.32 O38
- 賃金・価格・利潤 K.マルクス著 土屋保男訳・注解 大月書店 1983 (大月センチュリーズ) 331.34 Ma59
- 経済学批判と弁証法 細見英著 未来社 1979 331.34 H94
- 資本論 全 K.マルクス著 マルクス=エンゲルス全集刊行委員会訳 大月書店 1982 331.34 Ma59
- 価値形態と貨幣—スミス・マルクス・ヒルファディング— 武田信照著 梓出版 1982 331.52 Ta59
- 中国経済のディレンマ—新たな模索の始まり— 嶋倉民生丸山伸郎著 有斐閣 1983 (有斐閣選書) 332.22 Sh37
- 米国経済ハンドブック 日本貿易振興会海外調査部米州課著 東洋経済新報社 1982 332.53 N77
- 経済協力 松井謙著 有斐閣 1983 (有斐閣選書) 333.8 Ma77
- 世界資本主義の政治経済学—不等価交換・帝国主義および低開発— R.サウ著 長谷川幸生 入江成雄訳 梓出版社 1981 333.91 Sa91
- 経営情報管理論 涌田宏昭編著 実教出版 1970 335.91 W35
- 戦略型経営—戦略選択の実践シナリオ— R.E.マイルズ C.C.スノー著 土屋守章 内野崇 中野工訳 ダイヤモンド社 1983 335.94 Mi26
- 東京マネー・マーケット—金融革命の焦点=短期金融市場— 森田達郎 原信編 有斐閣 1983 (有斐閣選書) 338.13 Mo66
- 日本金融論の史的研究 加藤俊彦編 東大出版会 1983 338.21 Ka86
- 河上肇貧乏物語の世界 塩田庄兵衛著 京都 法律文化社 1982 363.02 Sh77
- マルクスと現代 菅孝行著 未来社 1982 363.3 Ka43
- 職場のなかの社会主義—東欧社会主義の模索と挑戦— 石川晃弘著 青木書店 1983 366.2 I76
- 日本の女子労働—揺さぶられる経済基盤— 篠塚英子著 東洋経済新報社 1982 (東経選書) 366.35 Sh69
- ◆経済民主主義—本質・方途・目標— F.ナフタリ編 山田高生訳 御茶の水書房 1983 366.5 N49
- 恐慌論史序説 小沢光利著 梓出版社 1981 336.9 O97
- 地方都市における大学づくりの実際—公立大学の新しい可能性・私立大学と自治体の共同— 地域科学研究会編 (同編者) 1981 377 C43
- FORTRAN数値計算とプログラミング 中村明子 伊藤文

子著 国井利泰監修 共立出版 1970 418.1 N37

中国工業化の歴史—近現代工業発展の歴史と展望— 池田誠〔等〕著 法律文化社 1982 502.22 I32

文科系のコンピュータ読本 角谷保著 コロナ社 1982 549.9 Ka14

ミニコンから使えるFORTRANの基本と演習 仮谷太一 一村稔 脇本和昌著 横書店 1975 549.9 Ka67

ベーシック入門 J.G.Kemeny T.E.Kurtz著 尾崎義雄 神山武訳 森口繁一監修 共立出版 1971 549.9 Ke34

基礎電子計算機 北川節著 昭晃堂 1981 549.9 Ki63

FORTRANプログラミング演習 小郷寛 宮崎靖則著 共立出版 1974 549.9 Ko26

FORTRAN電子計算機とプログラミング 国井利泰 中村明子 伊藤文子著 共立出版 1973 549.9 Ku43

基礎BASIC 松田稔著 パワー社 1979 549.9 Ma74

COBOLの学び方 溝口貞彦著 東京電機大学出版会 1970 (コンピュータ学習シリーズ) 549.9 Mi93

フローチャートのかき方 溝口貞彦著 野崎昭弘校閲 東京電機大学出版局 1983 (コンピュータ学習シリーズ) 549.9 Mi93

JIS FORTRAN入門上, 下 森口繁一著 第2版 共立出版 1973 549.9 Mo48

COBOLの演習 日本ソフトウェア編 東京電機大学出版会 1971 (コンピュータ学習シリーズ) 549.9 N77

コンピュータ処理の基礎知識 日本ソフトウェア編 東京電機大学出版局 1970 (コンピュータ学習シリーズ) 549.9 N77

人文科学のFORTRAN 77 西村怨彦著 東大出版会 1978 549.9 N77

電子計算機演習FORTRAN 大河内正陽 前田功雄編著 実教出版 1975 549.9 O53

経済・経営系のための電子計算機入門 大河内正陽 林勲 岡祐記者 実教出版 1980 549.9 O53

FORTRAN解法事典 齊藤忠夫著 昭晃堂 1981 549.9 Sa25

10語で書けるFORTRAN 渋谷茂一著 コロナ社 1978 549.9 Sh23

FORTRANの学び方 高宮英郎著 東京電機大学出版局 1972 549.9 Ta43

入門BASIC テキサスインストルメンツ編 齊藤梅朗訳 共立出版 1980 549.9 Te93

現代農地政策論 今村奈良臣著 東大出版会 1983 611.23 I44

都市の食糧問題 日本科学者会議編 大月書店 1983 611.3 N77

現代社会主義の会計構造—固定フォンドの計算と管理— 森章著 大月書店 1983 679.01 Mo45

商業簿記 黒沢清著 新訂増補版 一橋出版 1976 679.6 Ku76

原価計算論 佐藤精一著 同文館 1983 679.7 Sa85

## ◆ 法 学 関 係 ◆

墨子を読む 駒田信二著 勁草書房 1982 124.3 Ko56

日本一二百年の変貌 M.B.ジャンセン著 加藤幹雄訳 岩波 1982 210.04 J22

中世英国世俗領の研究 鶴川馨著 未来社 1966 233.04 U54

混沌の海へ—中国的思考の構造— 山田慶児著 朝日新聞社 1982 (朝日選書207) 302.22 Y19

現代政治過程論 黒川貢三郎〔等〕著 北樹出版 1983 311.1 Ku74

現代政治過程論—国家と地域社会の政治— 大原光憲著 勁草書房 1982 311.1 O27

情報公開と行政秘密—先進諸国の動向— D.C.ローワット 編著 堤口康博監訳 早稲田大学出版会 1982 313.19 R77

行政概念の省察 手島孝著 学陽書房 1982 (法学選書) 317.1 Te83

行政改革は日本を変える 加藤寛著 春秋社 1982 317.2 Ka86

行政改革と日本の進路 関恒義編 大月書店 1982 317.2 Se24

行政改革 島恭彦〔等〕編 青木書店 1982 317.2 Sh35

行政サービスの実践—その理論と技法— 行政管理庁監修 中央法規 1982 317.6 G99

地方公務員法入門 阿部泰隆〔等〕著 有斐閣 1983 (有斐閣双書入門基礎知識編) 318.13 A12

女性法律家 三淵嘉子著 有斐閣 1983 (有斐閣選書) 320.28 Mi12

野田良之先生古稀記念論文集 山口俊夫〔等〕編 有斐閣 1983 320.4 N92

—東西法文化の比較と交流—



- 現代法律学講座10 青林書院新社 1983  
民法2—物権— (稲本洋之助著) 320.8 G34
- 三省堂実用法律叢書 三省堂 1983  
学校事故の法律問題—その事例をめぐって— (伊藤進著)  
320.8 Sa66
- 日本人の法観念—西洋的法観念との比較— 大木雅夫著  
東大出版会 1983 321.3 O51
- 秩序と紛争—人類学的考察— S.ロベーツ著 千葉正士監  
訳 西田書店 1982 321.4 R51
- 計画行政法 遠藤博也著 学陽書房 1976 (法学選書)  
323.9 E59
- 災害と法—當造物責任の研究— 植木哲著 一粒社 1981  
323.9 U39
- 民事救済法理の展開 中井美雄著 有斐閣 1981  
324.04 N34
- 不動産法の研究 高木多喜男著 成文堂 1981  
324.2 Ta29
- 契約法概説 長尾治助 横田貫一著 有斐閣 1983 (有斐  
閣双書入門基礎知識編) 324.52 N17
- 相続・増与—紛争防止に役立つ法律と税の知識— 泉久雄  
山崎賢一 桜井四郎編 有斐閣 1983 (有斐閣選書)  
324.7 I99
- 改正会社法詳説 堀口亘 酒巻俊雄編 三嶺書房 1983  
325.2 H88
- 改正商法による監査役の実務—職務権限と監査実施のすべ  
て— 久保利英明編著 中央経済社 1983  
325.2433 Ku11
- 倒産—債権者・経営者・従業員のための法律知識— 谷口  
安平著 有斐閣 1983 (有斐閣選書) 325.247 Ta87
- 手形法の判例と論理 倉沢康一郎著 成文堂 1982  
325.61 Ku55
- 手形法小切手法 高鳥正夫著 慶應通信 1975  
325.61 Ta54
- 刑法概説 各論 大塚仁著 増補2版 有斐閣 1980  
326.2 O88
- 犯罪学講義 藤本哲也著 八千代出版 1982  
326.3 F62
- 日本の犯罪学5, 6 東大出版会 1980  
5. 1970—77 1原因  
6 1970—77 2対策 326.3 N77
- 裁判・紛争処理の比較研究上—アクセス・トゥ・ジャスティ  
ス・プロジェクト— M.カベレットイ編 小島武司  
谷口安平編訳 日本比較法研究所 1982 (日本比較法研  
究所翻訳叢書14) 327.1 C16
- 裁判における証明論の基礎—事実認定と証明責任のベイズ  
論的再構成— 太田勝造著 弘文堂 1982  
327.2 O81
- 実務破産法 大野文雄 矢野正則編 青林書院社 1982  
327.36 O67
- 独占禁止法入門 今村成和著 有斐閣 1983 (有斐閣双書  
入門基礎知識編) 328.1 I44
- 一問一答貸金業規制法の解説 大蔵省銀行局内貸金業関係  
法令研究会編 金融財政事情研究会編1983  
328.1 O57
- 寡占体制と独禁法 実方謙二著 有斐閣 1983  
328.1 Sa62
- 国際交渉と契約技術 坪田潤二郎著 東洋経済新報社  
1983 329.65 Ts19
- 日本乎英国乎—楊子江流域と日英の勢力— 日高進著 東  
方時論社 1918 332.22 H54
- 企業と現代法—法学入門の一つの試み— 中村一彦 北野  
弘久編 勁草書房 1983 (現代法選書16)  
335.4 N37
- 現代企業の支配構造—株式会社制度の崩壊— 西山忠範著  
有斐閣 1975 335.4 N87
- 租税法の基本原則—租税法は誰のためにあるか— 松沢智  
著 中央経済社 1983 345.1 Ma79
- 日本留学と革命運動 上垣外憲一著 東大出版会 1982  
(比較文化叢書5) 363.02 Ka37
- 社会保障法読本 荒木誠之著 有斐閣 1983 (有斐閣選書)  
364.3 A64
- 社会保障行政法—社会保障と現代行政法— 園部逸夫 田  
中館照橋 石本忠義編 有斐閣 1980 (有斐閣大学双書)  
364.3 So44
- 労働法 吾妻光俊著 新訂 青林書院新社 1981  
366.1 A99
- 各国の労働安全対策 藤本武著 増補2版 労働科学研究  
所 1975 (労働科学叢書) 366.96 F62

◆工 学 関 係◆

- 景観の構造—ランドスケープとしての日本の空間— 樋口  
忠彦著 技報堂 1975 290.19 H56
- 需要予測入門 竹内清著 第2版 丸善 1974  
335.9 Ta67
- 統計解析手順集—度数分布法から直交配列表まで— 吉川  
英夫編 増山元三郎監修 日科技連 1959  
350.1 Y89

- 日本文化の型と形 杉山明博著 三一書房 1982  
383 Su49
- 情報科学講座 A-5-4 北川敏男編 共立出版 1983  
情報量統計学 (坂元慶行 石黒真木夫 北川源四郎著)  
401.4 J66
- 詳解微積分演習1 福田安蔵〔等〕著 共立出版 1960 (大  
学課程数学演習シリーズ2) 413.3 F74
- 基礎微積分演習 北村泰一 松田秀一 仁平政一著 横  
書店 1981 (数学演習選書) 413.3 Ki68
- 理工系の微積分学 田代嘉宏 北山毅著 森北出版  
1967 413.3 Ta87
- 理工系学生・電子技術者のためのポケコン数値計算 小松  
秀昭 内田昭宏著 誠文堂新光社 1982 418.1 Ko61
- 分散分析法入門 石川馨 米山高範著 日科技連 1967  
(QCテキストシリーズ19) 418.8 I76
- 統計的方法百問百答 近藤良夫 安藤貞一編 日科技連  
1967 (QCテキストシリーズ20) 418.8 Ko73
- 例解演習実験計画法 小西省三著 日刊工業新聞社 1965  
418.8 Ko75
- 理工系のための統計的推論—推定・検定・予測— 多賀保  
志著 山海堂 1978 418.8 Ta17
- 統計解析プログラム講座1, 2 芳賀敏郎 橋本茂司編  
日科技連 1980  
1. 統計解析プログラムの基礎  
2. 回帰分析と主成分分析 418.8 To29
- 土木技術者のための地質学入門 田中治雄著 山海堂  
1964 450.1 Ta84
- 雪崩の世界から 新田隆三著 古今書院 1981  
451.66 N88
- やさしいセンサ技術 自動化技術編集部編 工業調査会  
1982 501.22 J48
- 計測工学 宮崎孔友著 朝倉書店 1972 (機械工学基礎講  
座16) 501.22 Mi88
- 力学の構造物への応用 星谷勝著 鹿島出版会 1982  
501.3 H92
- 構造力学 小西一郎 高岡宣善著 丸善 1973  
501.34 Ko75
- 土木技術者への計画と管理のための予測手法 吉田信夫著  
山海堂 1974 509.6 Y86
- 土木計測—理論と応用— 都淳一著 鹿島出版会 1976  
513.3 Mi76
- 橋梁の各種事故例と対策 岡尚平著 理工図書 1980  
515.01 O36
- 美しい橋のデザインマニュアル 土木学会構造工学委員会  
編 (同編者) 1982 515.1 D81
- 土木工事施工法 白石俊多著 北海堂 1974  
513.3 Sh82
- 計量都市計画—都市計画システムの手法と応用— 天野光  
三編 丸善 1982 519.8 A43
- 建築概論 建築概論編集委員会編 彰国社 1982  
520.1 Ke41
- 最新鉄骨構造 高梨晃一 福島暁男著 森北出版 1982  
(最新建築学シリーズ7) 524.6 Ta46
- 鉄骨構造の耐震設計 加藤勉著 丸善 1983  
524.91 Ka86
- 建築耐震計における保有耐力と変形性能 日本建築学会編  
(同編者) 1981 524.91 N77
- 地震力を考えた構造物設計法 岡本舜三著 第3版 オ  
ム社 1979 524.91 O42
- 耐震構造—建物の耐震性能— 若林実著 森北出版 1981  
(防災シリーズ1) 524.91 W17
- 寒地建築教材 図集編, 概論編 日本建築学会北海道支  
部編 彰国社 1982 525.1 N77
- 建築計画—計画・設計課題の解き方— 柳沢忠〔等〕著 共  
立出版 1980 525.1 Y52
- 現代電子計算機—ハードウェア— 萩原宏 黒住祥祐著  
オーム社 1982 549.9 H14
- 誰にでもわかるマイコン入門—まださわったことのない人  
これからさわる人の読む本— 桑山義明著 日本実業出  
版社 1981 549.9 Ku98
- 例題形式FORTRANプログラミング 中山隆 高須一美著  
共立出版 1973 549.9 N45
- FORTRAN77入門 浦昭二編 培風館 1982 (電子計算機  
のプログラミング8) 549.9 U81
- 山地防災工学 矢野義男著 山海堂 1983 656.5 Y58
- 都市の再生と下水道 中西準子著 日本評論社 1979  
519.2 N38
- 下水道工事 佐藤昌之著 丸善 1980 519.2 Sa85
- 土の見分け方入門 土の見分け方入門編集委員会編 土質  
工学会 1981 (入門シリーズ5) 511.37 Ts29
- 現場技術者のための土質工学 最上武雄 福田秀夫編 改  
訂版 鹿島出版会 1978 511.3 Mo16
- 土質工学計算法—土質および基礎の工学的計算法— 河上  
房義著 再訂版 森北出版 1975 511.3 Ka94

# 受入雑誌

(昭和58年10月～昭和58年12月現在)

愛知学院大学商品学研究所所報：商品研究 1—3：1979—1982+

千葉大学教養部研究報告 A 16：1983+

[中央大学企業研究所] research papers 1：1983+

土木とコンピュータ(土木施工臨時) 1：1983+

愛媛大学教育学部保健体育学教室論集 1—5：昭48—昭57年度+

花園大学国文学論究 1—10：昭48—昭57+

広島大学経済学部紀要：年報経済学 1—4：昭55—昭58+

広島大学東洋史研究室報告 1—5：1980—1983+

[市邨学園大学消費者問題研究所]研究所報 1—5：1980—1983+

[金沢経済大学経済開発研究所]研究年報 1：3 1981—1983+

関西のすまい(日本建築家協会関西支部) 7—19：1967—1983+

[近畿大学]環境科学研究所所報 3：昭58+

[近畿大学農産物流通研究会]流通研究 1÷1983+

[神戸大学工学部]土地造成工学研究施設報告 1：1983+

[国士館大学総合経済研究所]総経研紀要 1：1983+

[日本女子大学文学部]社会福祉 23：1982+

[大阪大学教養部]研究集録 人文・社会科学 31：1983+

[大阪府立大学]人間科学論集 15：昭58+

島根大学理学部紀要 16：1982+

東北学院大学キリスト教研究所紀要 1：1983+

東北学院大学教育研究所紀要 1—2：1982—1983+

東京大学法学部研究・教育年報 7：1981・1982+

東京大学教育学部教育行政学研究室紀要 1—3：1980—1982+

[筑波大学]哲学・思想論集 8：昭57+

我等(法政大学大原社会問題研究所編・復刻) 1—3：大8—大10+

[早稲田大学社会科学研究所]社会科学所究 第28卷3号：1983+

横浜市立大学紀要 社会科学編新シリーズ 1：昭58/3月+

Accounting historians journal (The Academy of Accounting Historians) 6—10：1979—1983+

American criminal law review (A.B.A) Chicago, Ill. 1—19：1962/63—1981—82

American statistician (American Statistical Association) 1—37：1947—1983+

The Ballance of international payments of United States (U.S.Dept of Commerce) 1922—1946/48

Bank of England quarterly bulletin 1—20：1960/61—1980

Jahrbuch der deutschen Sozialdemokratie (Sozialdemokratischen Partei Deutschlands) 1926—1931

Journal of the Town Planning Institute London 1—60：1914/1915—1970

Karlsruher juristische Bibliographie 1—5：1965—1969, 10—17：1974—1981+

Marxistische Studien (Institute für Marxistische Studien und Forschung) 1—2：1978—1979, 4—5：1981—1982+

Die Neue Zeit : Wochenschrift der deutschen Sozialdemokratie 1—41：1883—1922/1923, & General Register 1—4：1—41：1883—1923

Recht und Staat, in Geschichte und Gegenwart. Tübingen. 1, 4—8, 13, 15—16, 18—19, 22, 26, 29, 32—34, 38—43, 45, 47—54, 57—63, 65, 67—69, 71, 73, 76—85, 87, 89, 91, 93—100, 103, 106—107, 110—112, 114, 118, 120—121, 123—512：1913—1983+

United States Steel Corporation, annual report (microfilm) 1—77：1902—1978

Verwaltungsbericht der deutschen Reichsbank. Berlen. 1876—1943

## 古典の窓

### ディドロ没後200年

去年のマルクス没後100年に次いで、今年には、あのディドロ Diderot の没後200年目に当たる。5年前にはルソーとヴォルテールの没後200年を記念する国際的催しがいくつか学会レベルで行なわれ、わが国でも『思想』誌(岩波書店)その他でこれら二人にかんする記念特集号が編まれたりもした。

だが、ディドロの没後200年はとくに目立った行事に彩られることなく、ややひっそりとやり過ぎようとしている感がある。このことは、ディドロが18世紀フランス啓蒙思想の運動の中で果たした中心的役割と、思想家・理論家としてのかれの独自性ならびに卓越性を思い起してみるとき、どうしても、片手落ちの感は否めない。

ディドロは他のだれにもまして最盛期のフランス啓蒙思想運動の申し子そのものであった。運動としての啓蒙思想は『百科全書』の刊行(1751~72)を抜きにしては語れないし、この『全書』の刊行はディドロ抜きには考えられない。それは160人余におよぶ各分野にわたる有名、無名の執筆者たちの積極的協力と参加に支えられた、学問・芸術・技術の統一戦線そのものであった。それは平坦な道を行くようにして出来上ったのではなかった。フランス専制政治を支えるカトリック教会や高等法院による厳しい検閲制度のもとでのたえざる弾圧に耐え、それをかいくぐって一冊ごとの成果ががちとられたのであった。

しかも、そうした外的困難によって引き延された21年間という長丁場に耐えて全28巻(本文17巻、図版11巻)の完成にたどりつくには、——広範な支援に支えられ続けたとはいえ——ときには不眠不休の仕事に明け暮れたディドロの不屈の情熱なしには不可能であった。かれは、いわば、指揮をとりながら、必要に応じてみずから各種の楽器の演奏も一流にこなす Staf な指揮者のようであった。

王権の専制に反対し、カトリック教会の思想弾圧と愚民政策とに強烈な批判意識をもち独断論を排して科学的・実証的精神を称揚し、人知の進歩と人民生活の合理的改善の未来への楽観主義的確信と、自由への愛とのうちに生きる、——こうした共通の思想基盤を共有している学者や研究者や文筆家たちは哲学者と呼ばれていたが、ディドロはこのようなフィロゾフたることを、情熱につらぬかれたその全生活において典型的に体現していた。

かれはもちろんかれ独自の著作(『哲学的断想』46年、『盲人書簡』49年、『自然の解釈にかんする思索』54年、『ダランベールの夢』72年、『ラモーの甥』、等々)をもっている、そしてそれらはいずれも、当代を代表するに足る、自然科学者としての、文学者あるいは思想家としてのかれの傑出した才能と洞察力とを十分に証拠だてている。しかし、かれの名を歴史的に偉大ならしめたものはやはりなんといいても、『百科全書』という大業の完遂であった。

(教養部教授・はしもと・つよし)

## 『百科全書』

## 近代をひらいた魂の光

橋本剛

## 編集後記

本格的な冬将軍が到来しました。札幌はとくにウィンタースポーツの施設が充実した街といわれています。皆さんはどのような計画をもっていますか。おおいに身体を鍛えましょう。さて今回の号に本学のレファレンス・サービスの事例を掲載いたしました。図書館業務の究極的な目的は、この業務以外にはないと私は思います。ゲータは、図書館業務を「最も目にみえない役目」であるがその中でもさらに見えないのしない、それでいて重要な職能の一つであると言っている。今後一層利用者との接触を深め、生き生きとした人間的な図書館へ発展させていきたいと思ひます。

北海学園大学附属図書館報

## 図書館だより

Vol.5 No.4  
(通巻 88号)

北海学園大学附属図書館  
一本 館一

〒062 札幌市豊平区旭町4丁目1番40号  
電話(011)-841-1161(代表)  
内線、総務係272 閲覧係274~275  
図書係273  
一工学部分室一

〒064 札幌市中央区南26条西11丁目  
電話(011)-561-2911(内線)64